



ハスワーク® ワークショップ開催のための ガイドライン

思い編

1. 自分の内面と「対話する」時間



ハスワーク®は、ハスづくりの作業（ワーク／手しごと）を通じて、作り手が自身とつながり*、自分の内面のハスを咲かせる時間です。
そもそも私たちは、ありのままで美しく、ひとりひとりが尊い存在だと考えます。
ハスを「完璧に / 正しく / 上手に」つくることだけを重視したワークショップではありません。ハスという「結果物」と「工程・過程」などの作っている最中の出来事、どちらも大切にします。

*「作り手が自身とつながる」
自分と向き合う、対話する
内面に意識を向ける
自分に問いかける など

2. 「つくる人」が主人公



ワークショップでは基本工程の3つを提示していますが、その通りにするかどうかは「つくる人自身」が決めていきます。
ハスの形・大きさ・やり方・作るスピードなど正解は一つだけではありません。「完成」の基準も、作り手の意思によって自由に決めることができます。
ハスワーク®主催者は、作り手それぞれのチャレンジをぜひ応援してください。

- ◎工程を省く/工程を加える/独自の方法でつくる/ハスではない花をつくる など
- ◎休むタイミングは自分で決められます
- ◎完成したハスは、持ち帰る/つぶす/置いて帰る(可能な場合)など、つくった人が選びます

3. お互いを尊重する「対等な関係性」の場



【場づくりのところがけ】

- ①場の「安全」を保証する
- ②その場にいる全員の「安心」を保証する
- ③参加者全員の「尊重・対等」を守れるよう関係性づくりにつとめる

主催者は「場」をつくる人であり、ワークショップ運営にあたっての責任者です。

主催者と参加者の関係は「先生と生徒」「講師と生徒」の関係ではありません。参加者の年齢・経験・国籍・性別などを問わず、「ひとりの人」として尊重し「対等な関係づくり」を心がけてください。

◆新型コロナウイルス対策：マスク着用の有無や消毒の有無など状況に応じて必要な用意と案内を行ってください。

【ハスワーク® 3つのステップ】

選ぶ ≫ こよる ≫ 貼る



自分とつながる 花ひらく

ハスワーク®



<https://www.koppuri.com>

produce: Koppuri/コップリ

